

日本での交換留学

北京大学

チョウ ウネイ

一学期（いちがっき）の交換留学が終わりに近（ちか）づいています。今学期の交換留學生生活を振り返ると、ゼミや授業を通じて大いに収穫（しゅうかく）があっただけでなく、サークルと旅行も色々な体験をもたらしてくれました。

授業について、日本語のレベルが限られていたため、私は主に日本語の科目を受講（じゅこう）しました。専門について、指導教員である戸川貴行先生のゼミや学部授業と殷晴（いんせい）先生の授業を聴講（ちょうこう）し、東京大学で佐川英治（えいじ）先生のゼミも参加しました。

戸川ゼミの皆は異なる（ことなる）分野を研究していたため、全く異なる分野の知識（ちしき）を学ぶ（まなぶ）ことができました。戸川先生の学部授業「比較（ひかく）アジア社会史論」では、中国史と朝鮮史の研究現状（げんじょう）を中心に、先秦（せんしん）時代から現代史に至る研究における重要な問題と最新（さいしん）の研究動向（どうこう）を紹介して、色々勉強になりました。



知識（ちしき）を学ぶ（まなぶ）ことができました。戸川先生の学部授業「比較（ひかく）アジア社会史論」では、中国史と朝鮮史の研究現状（げんじょう）を中心に、先秦（せんしん）時代から現代史に至る研究における重要な問題と最新（さいしん）の研究動向（どうこう）を紹介して、色々勉強になりました。

殷晴先生の「東アジアの歴史と文化」は清代のメディアと政治情報（せいじ

じょうほう）の伝達（でんたつ）をめぐって紹介しました。私にとって全く新しい領域（りょういき）であり、視野（しや）を開（ひら）かせてくれました。

さらに、日本語演習（えんしゅう）や特設（とくせつ）日本語の授業にも勉強になりました。「日本語演習ⅢA」の王一瓊先生、「上級（じょうきゅう）A文法」の山口先生、「中級A文法」の佐々木先生、「上級ANI対策」の崔先生、「中級A作文」の唐先生、「中上級AN2対策（たいさく）」の王雪瑶（せつよう）先生、皆は優しく、教え方もわかりやすかったです。

サークルについて、バレー部は最高だと思います。週9時間、試合前には12時間の練習を行（おこな）っていました。私の技術（ぎじゅつ）が向上（こうじょう）し、スパイクが段々できるようになりました。そして、私は初めてリベロとして関東大学バレーボールリーグ戦（せん）に出ました。早稲田大学の岡上コーチとバレー部の全てのメンバーに心から感謝します。

バレー部以外、箏曲（そうきょく）部にも参加し、日本箏を学びました。また、能楽研究会で小鼓（こつづみ）と能管を体験しました。

交換留学中の数ヶ月（すうかげつ）間、色々な日本料理を楽しみ、色々な場所に旅行しました。4月には花見のため盛岡から弘前城まで行き、5月には立山黒部の雪の大谷（おおたに）を訪れ（おとずれ）、6月には鎌倉（かまくら）の明月院（めいげついん）で紫陽花を楽しみ、7月には京都で祇園祭の宵山（よいやま）の際に日和（ひより）神楽（かぐら）を聴きました。8月には戸隠（とがくし）で中国漢唐史研究者の合宿（がっしゅく）に参加し、古木（こぼく）が並ぶ（ならぶ）参道（さんどう）を歩いて戸隠神社を訪れる予定です。

指導教官である戸川先生には指導していただき、感謝しています。また、私のチューターである野田さんは、様々な手続きを手伝って、大きな助け（たすけ）をしてくれました。

国際（こくさい）課にもお礼を申し上げたいです。様々なサポートをしてくれるだけでなく、生け花教室や歌舞伎鑑賞（かんしょう）などの文化体験の機会（きかい）を提供（ていきょう）してくれました。萩原（はぎわら）先生は交換留学生に対して熱心に指導をしてくださり、心から感謝しています。音羽館の管理人さんにも感謝しています。重要な生活用品を提供してくれ、音羽館の様々な情報を丁寧に紹介してくれました。音羽館での生活はとても快適（かいてき）で便利です。ありがとうございます。



